



《利用時間》 月～金（祝日はお休みです）
 ＊交流の場 親子で遊ぶ時間 ＊部屋や園庭で遊べます。
 月・水 9：30～16：00
 （11：30～12：30 ランチタイム）
 火・木・金 9：30～11：30
 ＊ほっと time 集団が苦手な子どもや大人の時間
 金 13：00～16：00（要予約）
 ＊あかちゃん time 妊婦さんから1歳位までのお子さんとそのきょうだい（未就園児）
 火・木 13：00～16：00
 ＊相談 9：30～16：00（電話・面接）
 ＊面接での相談を希望の方は原則予約して下さい。

月	火	水	木	金	土	日	
		1	2	3	4	5	
		4/1～4/3 までお休み				こども園 入園式	
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29 昭和の日	30				

コロナウィルス感染予防に伴う
利用時間・利用方法変更のお知らせ

八街市からの要請により、3月末を目途に地域子育て支援センターを閉めていましたが、まだまだ終息の気配を感じる事ができません。

残念ですが、もうしばらくの間、お休みさせていただきます。状況に合わせての再開を考えていますので、HP上での確認をお願いします。

皆さんもお身体に気をつけてお過ごしください。電話相談等は行っていますので、気軽にお電話下さい。

自然に学ぶ「食」

3年間、毎月堀部容子さんをお迎えして、私たちの生活に欠かせない食について、身近な題材でその効用等を聞きながら、梅の酵素ジュースやみりん、柿酢やマリネなど様々な物を作ってきました。

子育て中、なかなか大人一人での活動ができない中で、みんなでワイワイしながら、生活のちょっとしたヒントや楽しみになればと思っています。

昨年度はたんぽぽを利用して下さる方のご厚意で、梅や柚子を採りに行かせて頂き実際何処にどのようになっているのかを知り、また私たちが生活する八街を感じながら作る楽しみも随分増えました。

今年度は、さらに生活に身近なものになればと思っています。私たちにとって身近な食材を取り入れながら、知る楽しさや自分で作る楽しさ等を感じたいと思っています。

やってみたいこと、「こんなの出来るよ」というアイデア等ありましたら、一緒に考えていきませんか？遊びに来た時に、なんとなく楽しめる、そんな風に私たちの生活を楽しんでいければと思っています。

* 5月以降再開予定です。

『あかちゃん time』

おっぱいを飲まない(´_`):。夜泣きが辛い。どうやって、あやせばいいの？自分の時間が欲しい!!誰かと話したい!!みんなはどうしてるの…？

子育てには様々な悩みはつきものです。同じような思いをしている人達やちょっと前まではそうだったけど、と少し先輩のママ達があります。お喋りしませんか？

絵本を見たり、わらべ歌で遊ぶ時もあります。身体測定をする日もあります。普段なかなか身長・体重を測れないあかちゃん達、ぜひ利用して下さいね。

月に一度位、助産師さんの参加もあります。日頃気になることなど、話にきてみて下さい。

* 今月の助産師さんの参加はお休みです。



たんぽぽ通信

明德やちまたこども園 地域子育て支援センター 『ほっとステーションたんぽぽ』
〒289-1115 八街市八街ほ 559-2
☎ 043(488)4919

新しい年度になりました。昨年度末はコロナウィルス感染予防のため、2月末から3月いっぱい支援センターを閉めていました。皆さんは如何お過ごしでしたか？あちこち人が集まる場所は閉鎖され、イベント等も中止になり、こども達を遊ばせる場所や子育てをしている皆さんがゆっくりできる場所がなくなってしまいました。マスクがなくなったり、トイレトペーパーやティッシュペーパーがスーパーの商品棚から姿を消したりしました。マスクはまだまだ品薄ですが、ティッシュペーパー等は在庫があるのに過剰反応がおこりました。頭では分かっている、スーパーに行く品物がなくて不安になったり、つい買ってしまおう一人に私自身もなってしまうたり。情報の受け取り方、自分の対応について考えさせられました。また、私たちの生活が随分商品を買うことに頼り切っていることも感じました。効能は市販のマスクほどないのかもしれませんが、手づくりマスクを作ることも話題になりました。おしゃれな可愛いものも多く、使い捨てが増えていく中で、布マスクでもある程度の効能があるのであれば、エコロジカルなことだと改めて思います。

また、電車の中で咳をすることが肩身の狭いことになり、トラブルも起きました。それを防ぐためにコロナウィルスの咳ではないことを示す缶バッジも話題になり、需要があるとの報道もありました。公共の場で人の事をどこまで思いやることができるか？大きな問題です。

色々な事を考えさせられますが、一番はコロナウィルスの終息です。日本の国内でさえ、移動が不自由になってきたり、学校の休校や仕事の自粛もあります。それに伴い、人々の生活が脅かされています。きっとそんな中に生活をしておられる方も多いと思います。どうしたら、この状況を乗り切って行けるのでしょうか？私たちの生活、どう守っていけばいいのか先が見えません。解決はなかなかできませんが、たんぽぽの場で、いろいろ話しができればと思います。そして早くのコロナウィルス終息を願うばかりです。

映画『ママをやめてもいいですか!?』より

この映画を見たお母さんから、「この映画の事をみんなに知らせたい」と連絡をもらいました。コロナウィルス感染防止の為、支援センターはお休みを余儀なくされました。みんなに少しでも、この映画の事を伝えたいので、感想を寄せてもらいました。

「お母さんになりたい！」そう強く願っていたはずなのに、日々の子育ての中で生まれてくる負の感情…。我が子が可愛くて愛おしくてたまらないはずなのに、オムツ替えも授乳も何もかもが辛くて、逃げ出したいことがたくさんあります。実際夜中に家出をしたこともあります（笑）。家族やママ友さんに育児について愚痴をこぼすことがあっても、なかなかダークな話はこぼせないじゃないですか…。だって出来るだけ「良いお母さん」でありたいと思っているから。でも、この映画を見てひたすら泣きっぱなしでした。

「あ～、自分なかなか疲れてるな。」と気づかされました。「ママをやめたい」「逃げ出したい」そう思う時があってもいいのかなと肩の力が抜けました。母である前に人間だから、疲れるし苛立つし悲しい気持ちになります。「〇〇くんのママ」、じゃなくてちゃんと名前もあります。自分が枯れていては、我が子はもちろん周りの人に笑顔や愛情は分け与えられないなと思います。この作品を観てたくさん「共感」でき、「だいじょうぶ、1人じゃない」と思えたことで、ちょっぴり強くなれた気がします。（及川琴絵）